

# Eglise SAINT MARTIN / VEVEY

1. Mai 2015/19:00

(入場無料)

# HIROSAKI BACH ENSEMBLE

J. S. BACH MESSE en si mineur, BWV232

KAZUKO SHIMAGUCHI direction, Clavecin



## 島口和子 プロフィール

ピアノソロ、伴奏者として活躍し、数多くの賞賛を受ける。その後アメリカに留学、チェンバロ・バロック音楽を学ぶ。帰国後、日本各地で多くのチェンバロリサイタルを開催。小澤征爾氏指揮新日本フィルほか多数の国際的著名演奏家や管弦楽団とも共演し、卓抜した伎倆で評価を受ける。

1985年、弘前バッハアンサンブルを結成。以来チェンバロ上から指揮し、今までに東京・弘前・青森などの国内公演をはじめ、6回の海外公演を成功に導く。朝日新聞「ひたむきなバッハ、ひとかたならぬ迫力」、音楽現代誌「生気溢れる好演に吃驚」と絶賛される。海外で島口の弾き振りによるその音楽はバッハの精神性とその躍動感、歯切れのよさなど秀逸で、今や日本の地方都市で活躍するバッハアンサンブルという視点ではなく「真に国際性を持ったバッハ」と評価は高い。

## 弘前バッハアンサンブル プロフィール

1985年、島口和子氏により結成された声楽・器楽アンサンブル。今年創立30周年を迎えた。ロ短調ミサ曲やマニフィカート、復活祭や昇天祭のオラトリオなどの大曲と数多くのカンタータ作品を含むバッハの宗教曲をレパートリーとし、毎年、弘前、青森、東京を中心に演奏。公演回数156回を数える。1991年以来、ヨーロッパやアメリカ、ロシアなど6度の海外公演を成功させ、特に2005年には、“20周年記念渡欧公演”を実施し、バッハ生誕の地アイゼナハをはじめ、ウィーン、ローマ、グラナダ、パリに於いてロ短調ミサ曲を演奏、外務省日EU交流年記念参加事業として、いずれも会場いっぱいの聴衆から最高の賛辞を受ける。2010年、創立25周年記念演奏会では、音楽専門誌「音楽の友」演奏会評で“時と国を超え荘厳なバッハの魂を届けてくれた”と絶賛される。

